

平成26年度 学術図書 計画調書作成・記入要領

計画調書は、科学研究費補助金（研究成果公開促進費）学術図書（以下「本科研費」という。）の交付を申請しようとする者が、公募要領に基づいて、あらかじめ当該刊行計画に関する内容を記入し、日本学術振興会あてに提出するものであり、日本学術振興会の科学研究費委員会における審査の際の資料となるものです。

つきましては、以下の点に留意した上で、誤りのないように作成してください。

<作成上の注意事項>

- 1) 計画調書については、**所定の様式の改変は認められません**。所定の様式と同一の規格（**両面**）のものを使用してください。**誤記入、記入漏れ、あるいは不明瞭な点がある場合には、審査の対象外となったり、誤った状態のまま審査に付されることとなります**ので、十分注意してください。
- 2) 計画調書の作成に当たって、直接、様式へ切り貼りする事は認められません（用紙の継ぎ足しも不可）ので、そのような場合は、切り貼りした計画調書を複写するなどにより、所定の様式の体裁に合わせてください。
また、ミスタイプ及び誤記入がある場合には、改めて作成し直してください。（訂正印及び修正液は使用しないでください。）
- 3) 数値等の記載に当たっては、各項目間に矛盾がないかを確認し、**必ず検算を行ってください**。
- 4) 出版社等から徴した見積書（コピー・FAXは不可）については、所定の様式を使用し、出版社等の記名押印、日付及び記載内容の確認を行ってください。特に**数値については、必ず検算して誤りが無いことを確認してください**。
なお、海外の出版社等であるため、当会所定の様式での見積書の作成ができない場合は、所定の様式の記載内容及び費目について当該出版社等より別途見積書を徴した上で、応募者が所定の様式に日本円に換算して記載してください。提出に当たっては、当該出版社等から徴した見積書、及び応募者が日本円に換算して記載した所定の様式と併せて、日本円換算の際に使用した為替レートを証明するものを添付してください。
- 5) 記入に際しては、原則として日本語によることとしますが、項目番号（36～42）については、英語による記入も可とします。（ただし、応募者名、刊行物の名称等について、日本語以外の文字・記号等を使用することは差し支えありません。）
- 6) 計画調書等応募書類の様式は、日本学術振興会の科学研究費助成事業ホームページ（<http://www.jsps.go.jp/j-grntsinaid/index.html>）からダウンロードできます。

<提出上の注意事項>

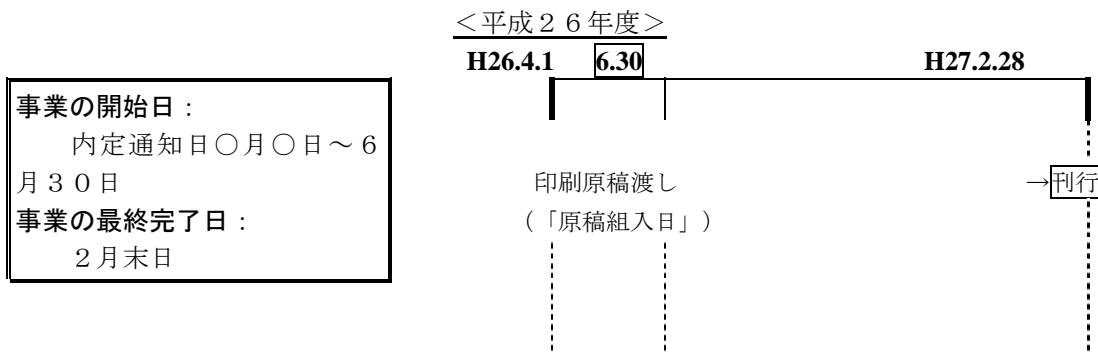
- 1) 提出の際は、はがれないように左横を糊付けしてください（ただし、副本のうち1部（左上部1箇所をクリップ止め）を除く）。
- 2) 著作権者が複数いる場合は、予め別紙（本作成・記入要領3頁）「**委任状**」を、著作権者全員から徴し、本科研費事業に係る著作権行使について、著作権者全員の了解を取ってください。なお、委任状は、応募代表者が保管しておいてください。
- 3) 計画調書等応募書類の提出に当たっては、記載内容をよく確認した上で、所定の部数を提出してください。（**公募要領19頁「Ⅲ 応募される方へ」「2 応募書類の作成・応募方法等」「(3)学術図書」「① 応募に必要な書類及び提出部数」を参照**）
また、応募書類等を封入、梱包した封筒、小包等には、必要事項を記入した「応募用封筒ラベル」（当会ホームページからもダウンロードできます。）を貼り付けた上で提出してください。
なお、研究機関に所属し機関管理となる者の応募書類は、所属研究機関において取りまとめ、日本学術振興会に提出することになりますので、所属する研究機関が指定する期限までに、当該研究機関に応募書類一式を提出してください。
- 4) 計画調書等応募書類については、**必ず控えを保存しておいてください**。

（※）応募書類提出期間中の問い合わせには対応ができませんので、公募要領、計画調書及び応募カードの内容・記入方法等に関する問い合わせは、余裕をもって行うようお願いします。

<補助事業のスケジュール>

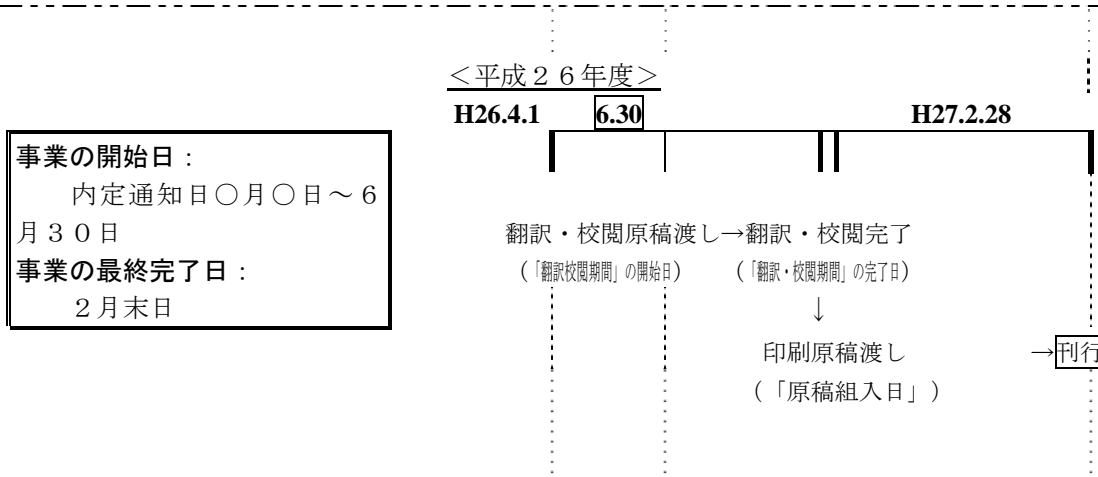
① 刊行のみ行うもの

1年：刊行（1年）



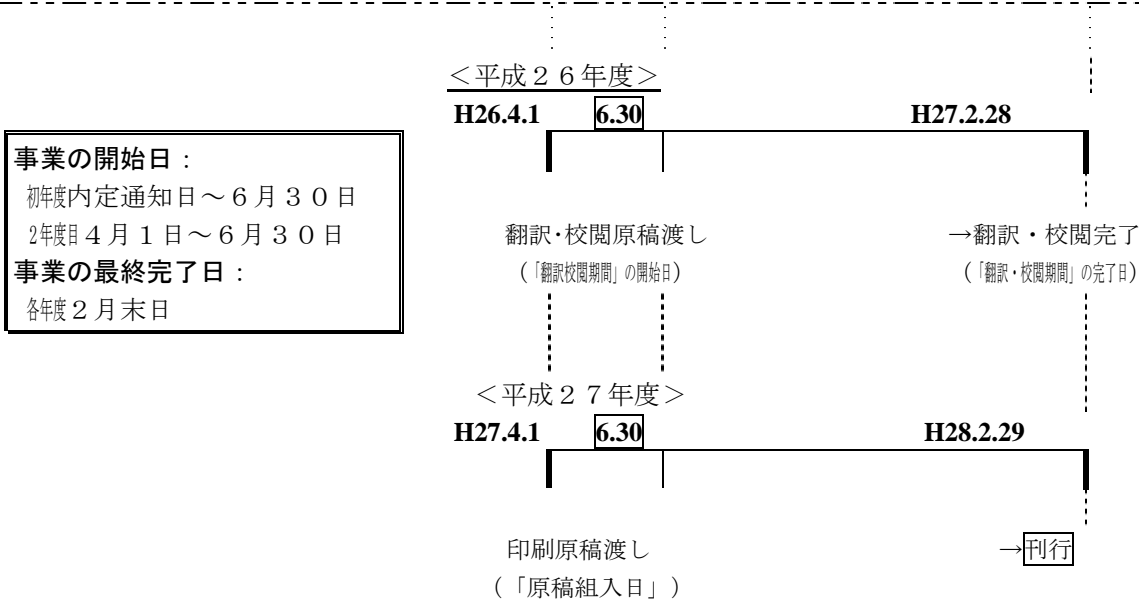
② 平成26年度中に翻訳・校閲の上、刊行するもの

1年：翻訳・校閲及び刊行（1年）



③ 平成26年度中に翻訳・校閲の上、平成27年度に刊行するもの

2年：翻訳・校閲（1年）+刊行（1年）



（参考：平成25年度における内定日は、平成25年4月10日です。）

(様式例)

平成 年 月 日

委任状

(応募代表者名)

_____ 殿

下記の刊行物の出版のため、平成26年度科学研究費補助金(研究成果公開促進費) 学術図書に応募する件に関して、私の著作権の行使を代表者に委任いたします。

記

刊行物の名称: _____

氏 名 (印)

住 所 (所属・職名)

*連名で記入してもかまいません。

平成26年度 学術図書 計画調書

〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇

1 審査希望分野(番号)	生物学 (410)
--------------	-------------

2 応募者自宅住所
(団体の場合は団体所在地) 東京都千代田区霞が関〇-〇-〇
(生年月日:明・大(昭)平 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日生)

<1-2は、広領域応募の場合のみ記入>

1-2 審査希望分野(番号)	工学B (350)	系	理工 系
	医歯薬学 (430)		生物 系
	()		系

3 応募者名 〇〇〇〇〇〇〇〇
(団体の代表者の場合は 〇 〇 〇 〇 団体名、代表者の職名・氏名) (印)

3-2 研究者番号(12345678)

4 所属機関・部局・職名 〇〇大学・▲▲学部・教授

5 連絡・照会先 電話(03 - 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇 内線 〇〇〇)
 FAX(03 - 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇)
 e-mail(00000@000-u.ac.jp)

6 刊行物の名称 △△△△における研究

7 著者・著作権者全員の氏名・所属機関・部局・職名(応募者を含む)
(著者と著作権者が異なる場合は、著者と著作権者の区分をつけて記入してください。)

◎ 〇 〇 〇 〇 ・ 〇〇大学 ・ ▲▲学部 ・ 教授
 〇 〇 〇 〇 ・ ××大学 ・ ■■学部 ・ 教授
 〇 〇 〇 〇 ・ △△大学 ・ ★★学部 ・ 准教授

(全員で 3人)

8 編者全員の氏名・所属機関・部局・職名(応募者を含む)

◎ 〇 〇 〇 〇 ・ 〇〇大学 ・ ▲▲学部 ・ 教授
 〇 〇 〇 〇 ・ ××大学 ・ ■■学部 ・ 教授

(全員で 2人)

<刊行経費等について>

9 和・欧・その他の別(○で囲んでください)	10 判 型	11 ページ数	12 発 行 部 数		
			市 販 用	その他(30部まで)	計(C)

<計画調書各欄記入要領>

※ 左記の記入例は、記入に当たっての例示であり、記載内容に整合性等のあるものではありません。

1,1-2 審査希望分野(番号)

公募要領24頁「平成26年度研究成果公開促進費審査希望分野表Ⅱ」から「審査希望」を必ず1つ選択し、その名称を記入すると共に、選択した「審査希望分野」に対応する3ケタの番号を()内に記入してください。
なお、広領域で応募する場合は、1-2の記入欄に「審査希望分野」の名称、その番号及び属する系を2つ又は3つ記入してください。(この場合、1の記入欄には記入しないでください。)

※ 1-2は、広領域応募以外は記入しないでください。(1と1-2は、いずれか一方にのみ記入してください。)

※ 広領域で応募する場合は、同一の系から2つ以上の審査希望分野を選択することはできません。

2 応募者自宅住所(団体の場合は団体の所在地)

応募者の自宅住所を記入してください。ただし、応募者が団体の代表者の場合は団体の所在地を記入してください。
なお、応募者が研究機関に所属し、機関管理となる場合は、記入の必要はありません。
 ※ 応募は、応募時から刊行が完了するまで日本国内に居住している者に限られます。
(公募要領16頁「Ⅲ 応募される方へ」「1 応募の前に行っていただくべきこと」「(3)学術図書」を参照)

3 応募者名(団体の代表者の場合は、団体名、代表者の職名・氏名)

応募者の氏名と、その上段にふりがなを記入すると共に、応募者の生年月日を記入してください。
なお、応募者が団体の代表者の場合は、団体名、団体における役職名(「会長」、「代表者」等)を併せて記入してください。

※ 押印は、応募団体の職印を押印してください。
また、署名の場合は必ず応募代表者本人が署名してください。なお、法人格を有していない任意団体において、職印がない場合には、代表者は、個人印を押印してください。

※ 旧姓使用等、氏名が戸籍名と異なる場合には、戸籍名を括弧書きで併記してください。
<例>「鈴木(山本)花子」

3-2 研究者番号

科研費の研究者番号を有する場合は、8桁の研究者番号を記入してください。

4 所属機関・部局・職名

応募者の現在の所属機関・部局・職名を記入してください。応募時点で、所属している機関等がない場合は「なし」と記入してください。
<例>「〇〇大学 ▲▲学部 教授」、「〇〇大学 特別研究員(PD)」、「〇〇大学名誉教授」、「なし」等

5 連絡・照会先

記載事項等について、当会より問い合わせを行う場合の連絡・照会先の電話番号等を記入してください。電話番号等は勤務先、自宅のどちらでも差し支えありませんが、より連絡のとりやすい番号を記入してください。
なお、応募者が研究機関に所属し、機関管理となる場合は、記入の必要はありません。 ※ 出版社等の担当者の登録は認めません。

6 刊行物の名称

当該刊行物の表紙等に表示する主題を記入してください。欧文タイトルの場合は、活字体で、大文字・小文字の区別を明瞭に記入してください。
 ※ 副題は計画調書には記入しないでください(ただし、副題を記入しなければ、他の刊行物との区別がつかない場合を除く)。
 ※ 採択後の刊行物の名称の変更は原則として認めませんので、十分検討の上記入してください。

7 著者・著作権者全員の氏名・所属機関・部局・職名

※ 複数の共同執筆者がいる場合は、著作権者である応募者を含めた「著者・著作権者」全員の氏名、現在の所属機関・部局・職名及び人数を記入してください。
 ※ 著者・著作権者が応募者本人のみの場合も、氏名を記入し、人数を(全員で1人)と記入してください。
 ※ 著者・著作権者が複数名の場合は、応募者に◎印を付けてください。また、著者と著作権者が一致しない場合は、著者と著作権者が区別できるように記入し、著者及び著作権者の人数をそれぞれ記入してください。

8 編者全員の氏名・所属機関・部局・職名

応募者を含めた「編者」全員の氏名、現在の所属機関・部局・職名及び人数を記入してください。
 ※ 編者がいない場合は「なし」と記入し、人数を(全員で0人)と記入してください。
 ※ 編者が複数名の場合は、応募者に◎印を付けてください。

【記入例】

<刊行経費等について>

9 和・欧・その他の別 (○で囲んでください)	10 判型 A5	11 ページ数 350頁	12 発行部数		
			市販用 620部	その他(30部まで) 30部	計(C) 650部
13 直接出版費(税込) (A) 2,866,500円		14 定価(税込) (B) 7,500円		15 卸売価格(税込) (卸売価格≧1部当たりの原価) (A)/(C) 5,250円	
17 応募上限額(=直接出版費(A)-{定価(B)×0.7×0.5×(発行部数(C)×0.6)})			18 刊行経費の補助要求額		
A 2,866,500 - { B 7,500 × 0.7 × 0.5 × (C 650 × 0.6) } = 1,842,750円			1,842千円		
19 出版者等への原稿組入日 (当該年度の4月1日以降 6月30日まで(※)) 平成26年4月30日		20 発行予定年月日 (当該年度の2月末日まで) 平成26年10月31日		21 出版社等名 株式会社 ◇◇◇◇出版社	

(※)1年度間で、翻訳・校閲の上、刊行する場合を除く。

*この欄は記入しないでください。

*受付番号

※応募者が所属する 研究機関が記入 する事項	研究機関名称 ○○大学	機関番号 12345	整理番号 1
------------------------------	----------------	---------------	-----------

見 積 書

<学術図書刊行用>

(応募者名) 学術花子 殿
平成25年10月○○日
(見積者) 住所 ○○○市▲▲町1丁目2-3
氏名 株式会社◇◇◇◇出版社
代表取締役 ○○ ○○ (印)

刊行物の名称 △△△△における研究								
和・欧・ その他の別	判型	組方	本文 主要 活字	字詰・行数	ページ 数	発行部数		
						市販用	その他	計(C)
和・欧・その他	A5判	縦横 1段	9ポ	字行 51 × 18	頁 350	部 620	部 30	部 650

扉	版	小計(f)	
表紙	版	CD 等 作 成 経 費	マスター作成代
カバー	版		ディスク代 枚
			製版代
小計(c)		小計(g)	
計 (a)+(b)+(c)+(d)+(e)+(f)+(g)		合 計(A) <直接出版費(税込)>	
消費税		2,866,500円	
		136,500円	

(※「CD等作成経費」欄には、CD-ROM又はDVD-ROM作成に係る経費を記入してください。)

定価(税込) (B)	卸売係数	卸売価格(税込) (卸売価格(税込)≧1部当たりの原価)	1部当たりの原価 (直接出版費(税込)(A)÷発行部数計(C))
7,500円	70.0%	5,250円	4,410円

見積書を出版社等及び翻訳者・校閲者から徴す際には、応募の条件や対象となる経費について十分留意した上で行ってください。(公募要19頁「Ⅲ 応募される方へ」「2 応募書類の作成・応募方法等」「③学術図書」を参照)

<刊行経費等について>

9 和・欧・その他の別

当該刊行物が、主として和文、欧文、またはその他の言語のいずれにより構成されているか、該当する箇所を○で囲んでください。(なお、和文と欧文がほぼ半分ずつで構成されている場合は、「その他」を○で囲んでください。)

10 判型

見積書に記載された「判型」を記入してください。

11 ページ数

見積書に記載された「ページ数」を記入してください。

12 発行部数

見積書に記載された「発行部数」の「市販用」、「その他」及び「計(C)」を記入してください。

※ 発行部数のうち「その他」(市販以外)は30部までとしてください。
(公募要領13頁「Ⅱ 公募の内容」「3 各種目の内容」「③学術図書」「(4)その他の留意点 ②」を参照)

この欄は、研究機関において応募書類を取りまとめる際に使用するものですので、応募(代表)者は何も記入しないでください。

13 直接出版費(税込)(A)

見積書に記載された「合計(A)<直接出版費(税込)>」を記入してください。(海外の出版社等より徴した見積書を応募者が円単位に換算し、円未満の端数が生じる場合は、合計において円未満を切り捨てて記入してください。)

14 定価(税込)(B)

見積書に記載された「定価(税込)(B)」を記入してください。(海外の出版社等より徴した見積書を応募者が円単位に換算し、円未満の端数が生じる場合は、円未満を切り捨てて記入してください。)

15 卸売価格(税込)

見積書に記載された「卸売価格(税込)」を記入してください。(円未満は切り捨てて記入してください。)

※ 卸売価格は、1部当たりの原価を下回らないようにしてください。
(公募要領13頁「Ⅱ 公募の内容」「3 各種目の内容」「③学術図書」「(4)その他の留意点 ①」を参照)

16 1部当たりの原価(A)/(C)

見積書に記載された「1部当たりの原価」を記入してください。(円未満は切り捨てて記入してください。)

17 応募上限額

公募要領に記載されている計算式により算定された、応募上限額を記入してください。(円未満は切り捨てて記入してください。)

$$\text{応募上限額} = \text{直接出版費(税込)(A)} - \{ \text{定価(税込)(B)} \times 0.7 \times 0.5 \times (\text{発行部数(C)} \times 0.6) \}$$

18 刊行経費の補助要求額

「13直接出版費(税込)(A)」の額から、出版社等負担分、自己負担分、又は他の寄附金等で充当できる財源があればその分を差し引いて算定した額を、千円単位で記入してください。(千円未満の端数は切り捨てて記入してください。)

※ 「応募上限額」を超える要求はできません。

19 出版者等への原稿組入日

20 発行予定年月日

本作成・記入要領2頁の「<補助事業のスケジュール>」に留意して、出版社等とよく相談の上、記入してください。

21 出版社等名

見積書に記載された出版社等の名称を記入してください。

【記入例】

＜翻訳・校閲経費等について＞※翻訳・校閲経費を必要とする場合のみ記入してください。

22 翻訳対象和文図書・論文名	◇◇◇◇研究		著者・著作権者	○ ○ ○ ○ (全員で ○ 人)	
	図書・論文頁数	300 頁	編者	なし (全員で 0 人)	
23 和文400字詰原稿用紙換算枚数	24 翻訳後の原稿予定枚数(200ワード詰)	25 校閲原稿予定枚数(200ワード詰)	翻訳・校閲経費		29 翻訳・校閲経費の補助要求額
209 枚	0 枚	230 枚	26 翻訳経費	27 校閲経費	28 計(26+27)
			0 円	432,500 円	432,500 円
30 翻訳・校閲期間開始日(当該年度の4月1日以降6月30日まで)	31 翻訳・校閲期間完了日(当該年度の2月末日まで)	32 刊行経費の応募年度(右のいずれかを○で囲む)		平成26年度	
平成26年 4月30日	平成26年 7月31日			平成27年度	

見 積 書

＜ 翻訳 ・ 校 閲 用 ＞ ← 該当する方を○で囲んでください。
 ＜ 学 術 図 書 翻 訳 ・ 校 閲 用 ＞

(応募者名) 学 振 太 郎 殿 平成25年10月○○日
 (翻訳者又は校閲者)

住所 ○○○市▲▲区△△1-2

氏名 ○ ○ ○ ○ (印)

翻訳又は校閲対象図書・論文名		翻訳又は校閲期間	
◇◇◇◇研究		開始日	平成26年 ○月○○日
		完了日	平成26年 ○月○○日
		期 間	○○○ 日間
	和文400字詰原稿用紙換算枚数	翻訳後又は校閲の原稿予定枚数(200ワード詰)(a)	翻訳又は校閲経費 (円)
			単価 (b) 金額 (a)×(b)
前 付	2	1	1,500 1,500
口 絵			
計	枚 209	枚 230	円 432,500 (税込金額)

＜翻訳・校閲経費等について＞

翻訳・校閲経費を必要とする場合(翻訳・校閲の上、刊行する場合は、必ず記入してください)。

22 翻訳対象和文図書・論文名

翻訳の対象となる和文の図書名又は論文名(いくつかの論文を集めて翻訳する場合はそれらの論文の総称名)、およびその著者・著作権者、編者(各々について複数の場合は、代表者1人)の氏名及び全員の人数を記入してください。また、図書及び論文の頁数も記入してください。

23 和文400字詰原稿用紙換算枚数

翻訳又は校閲経費を必要とする場合は、翻訳・校閲用見積書に記載された「和文400字詰原稿用紙換算枚数」の計を記入してください。

24 翻訳後の原稿予定枚数

翻訳経費を必要とする場合は、翻訳・校閲用見積書の「翻訳後又は校閲の原稿予定枚数(a)」に記載された翻訳後の原稿予定枚数の計を記入してください。

25 校閲原稿予定枚数

校閲経費を必要とする場合は、翻訳・校閲用見積書の「翻訳後又は校閲の原稿予定枚数(a)」に記載された校閲予定枚数の計を記入してください。

26 翻訳経費

翻訳経費を必要とする場合は、翻訳・校閲用見積書に記載された翻訳経費の計を記入してください。

27 校閲経費

校閲経費を必要とする場合は、翻訳・校閲用見積書に記載された校閲経費の計を記入してください。

28 計(26+27)

「26 翻訳経費」と「27 校閲経費」を合計した金額を記入してください。

29 翻訳・校閲経費の補助要求額

翻訳・校閲経費の「28 計(26+27)」の額から、他の寄附金等や自己負担で充当できる財源があれば、その分を差し引いて算定した額を、千円単位で記入してください。(千円未満の端数は切り捨てて記入してください。)

30 翻訳・校閲期間開始日

31 翻訳・校閲期間完了日

本作成・記入要領2頁の「＜補助事業のスケジュール＞」に留意して、翻訳者及び校閲者とよく相談の上、記入してください。

32 刊行経費の応募年度

翻訳・校閲から刊行までを平成26年度(平成27年2月28日まで)に行う場合は「平成26年度」を○で囲み、平成26年度(平成27年2月28日まで)に翻訳・校閲を行い、平成27年度(平成28年2月29日まで)に刊行する場合は、「平成27年度」を○で囲んでください。

【記入例】

33 翻訳者・校閲者について(翻訳・校閲経費を必要とする場合のみ記入してください。)			
	氏名・職歴・研究歴	主要著書・論文	主要業績
翻訳者			
校閲者	○ ○ ○ ○ 昭和○○年 ○○大学△△学部教授 平成△△年 □□研究所主任研究員	「☆☆☆☆の研究」 「××××の歴史」	「◆◆◆◆の歴史」 (○○出版・S○年) 「●●●●の研究」 (□□□□・H○年)

33 翻訳者・校閲者について

翻訳者、校閲者それぞれについて、氏名・職歴・研究歴等を記入してください。
 「主要業績」欄には、これまでに翻訳・校閲した図書・論文のうち、主要なものについて、図書・論文名、著者・編者名、翻訳・校閲年、既に刊行している場合は出版社等、発行年を記入してください。

※ 翻訳・校閲業者との契約のため、翻訳者・校閲者の氏名が特定できない場合は、業者名、及び当該業者における主要翻訳業績等を記入してください。

※ 応募者本人及び研究者グループ等に参加している者(共著者等)が翻訳又は校閲のどちらか一方を行う場合、応募者本人及び研究者グループ等に参加している者(共著者等)が担当する側の記入は不要です。

<事業の目的・概要>

34 著者(編者)の主要著書・論文
 (人数が多いため、枠内に書ききれない場合は、代表して何名かの著者について記入してください。)

○ ○ ○ ○ ・ ○○大学 ・ ▲▲学部 ・ 教授
 『●●●●の研究』 ○○出版・H○年
 『△△△△の生態』 ”◇◇◇◇Journal vol. ○-○”・19○○

○ ○ ○ ○ ・ ××大学 ・ ■■学部 ・ 教授

35 著者(編者)の研究歴
 (人数が多いため、枠内に書ききれない場合は、代表して何名かの著者について記入してください。)

○ ○ ○ ○ ・ ○○大学 ・ ▲▲学部 ・ 教授
 昭和・・年
 昭和・・年

<事業の目的・概要>

34 著者(編者)の主要著書・論文

著者(編者)の主要著書・論文を発表年次順に記入してください。
 著書の場合は、その題名、出版社等名、及び発行年を記入してください。
 論文の場合は、その論文名、掲載された雑誌名、及び発表年を記入してください。
 なお、著者(編者)が人数のため、記入欄に書ききれない場合は、代表して何名かの著者(編者)について、記入欄に収まる範囲で記入してください。

35 著者(編者)の研究歴

著者(編者)の主要職歴及びこれまでの主な研究内容を過去から年次順に記入してください。
 なお、著者(編者)が人数のため、記入欄に書ききれない場合は、代表して何名かの著者(編者)について、記入欄に収まる範囲で記入してください。

36 刊行物の内容(概要)

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

36 刊行物の内容(概要)

当該刊行物の内容をできるだけ具体的に記入してください。
 なお、本欄は、審査を行う上で重要な欄ですので、内容が的確に把握できるよう、十分検討の上記入してください。

37 目次(項目を列挙してください。)

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

37 目次

目次の項目を列記してください。

.

【記入例】

38 刊行の目的及び意義		
○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		
39 本刊行物を当該年度(平成26年度又は平成27年度)に刊行する意義		
○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		
40 本刊行物が学術の国際交流に対して果たす役割		
○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		
41 科研費を必要とする理由		
○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		
42 本年度における複数応募の有無(有の場合はその理由)	複数応募	(有) ・ 無 (いずれかに○)
(複数応募を行っている場合、その理由)		
○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		

38 刊行の目的及び意義

当該刊行物の刊行の目的、意義、学術的価値を記入してください。

39 本刊行物を当該年度(平成26年度又は平成27年度)に刊行する意義

当該刊行物を当該年度に刊行する意義、学術的価値について記入してください。

40 本刊行物が学術の国際交流に対して果たす役割

当該刊行物の刊行が、学術の国際交流に対して果たす役割について記入してください。
特に、翻訳・校閲の上、刊行する場合は、本刊行物を広く海外に提供することの目的及び意義について、必ず記入してください。

41 科研費を必要とする理由

当該刊行物を刊行するに当たって、本科研費が必要な理由、及び科研費の交付を受けられない場合の状況等について記入してください。

42 本年度における複数応募の有無

平成26年度学術図書について、同一応募者が、複数件数の応募(例えば同一体系図書の複数応募)を行う場合は「有」、行わない場合は「無」を○で囲んでください。
また、「有」の場合は、その理由を記入してください。